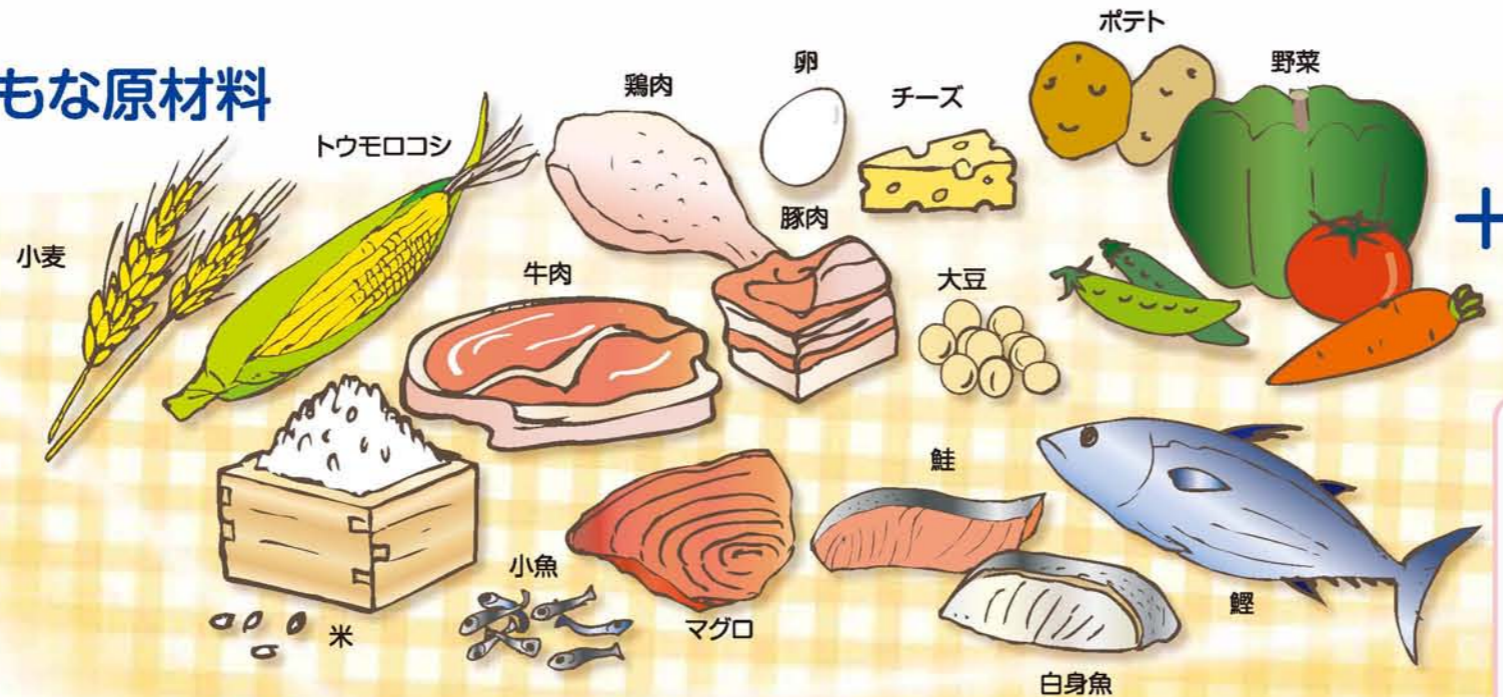


ペットフードには どんな原材料が使われているの？

●ペットフードのおもな原材料

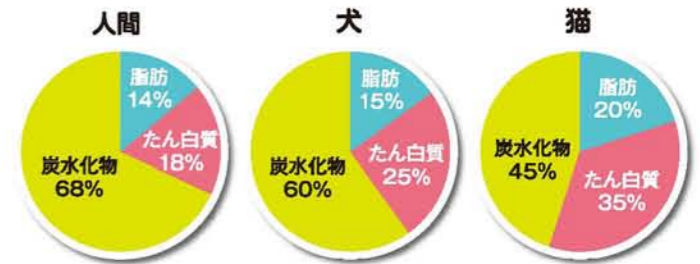
ペットフードはどんな材料からできているのか、パッケージの「原材料名」欄を見よう。穀類や肉類、魚介類など、トップに書かれているのがメインになる原材料。続いて、その他の原材料、添加物名の順に記されているんだよ。

ペットも人間と同じように食べ物から、必要な栄養をとって、特にカラダを作るたんぱく質、皮膚や毛艶を保ちエネルギーを蓄える脂肪、カラダと頭を動かせる炭水化物が不可欠なんだ。これらの栄養を含む材料が多く使われているよ。



ペットに必要な栄養バランス —三大栄養素の比較—

人間と犬は、雑食性。猫は肉食性のため、必要な栄養の割合も異なり、平均的な食事に含まれる三大栄養素もグラフのように違ってきます。



●ペットフードに含まれるおもな添加物の役割

「原材料名」を見ると、ペットフードにも人間の食べ物と同じように、いろんな用途で添加物が入っているのがわかるよ。例えば、下記の3つのような働きを考えて添加されているんだ。

1. 栄養バランスを整える

「総合栄養食」には、犬や猫が生きていくうえで必要な栄養基準が定められていて、それを満たすため、栄養成分を整える**ビタミン**、**ミネラル**、**アミノ酸**などの成分がプラスされることが多いんだ。

2. フードの品質を保つ

ペットフードに有害な微生物が増殖すると食中毒を起こす原因に。それを防ぐ働きをするのが、しっとりとした質感を保つために使用される**保湿剤**(微生物の水分利用をさまたげる)や、微生物を繁殖しにくくするため製品のpHを酸性に調整する**pH調整剤**、微生物そのものの繁殖をさまたげる**保存料**などの添加物。

また、ドライフードに含まれる油脂は、空気中の酸素、光、熱などで酸化すると刺激的で不快な臭いを発し、食べると体調を壊すことも。その酸化する油脂の身代わりになって、無害な物質に分解されるのが**酸化防止剤**なんだよ。チーズのような乳製品タイプのペットフードでは、油脂と水分が均一に混ざり合うよう**乳化剤**が添加されることがあるんだ。

3. 美しく、おいしくする

缶詰やレトルトパウチなどのウェットフードで、しっとりした質感やゼリー状のとろみをつけるのに使われるのが**増粘安定剤**。肉や魚を主原料として使う缶詰やセミモイストフードでは、肉の鮮やかな色を保つのに**発色剤**が使われていることもあるんだよ。天然の原材料は、収穫時期によって色がばらつくことがあるから、見た目の色調を整えるために**着色料**が使われていることがあるんだ。また、ケーキのようなお菓子タイプのペットフードでは、ふっくらとした食感を保つために**膨張剤**が使われることもあるよ。

※「原材料名」表記では、「保存料」「酸化防止剤」「増粘安定剤」「甘味料」「発色料」「着色料」の6用途の添加物は、用途名と個別名両方の表記が義務付けられています。